



特定非営利活動法人STスポット横浜
令和5年度 事業報告書

令和6年3月31日

ごあいさつ

S T スポット横浜は「アートと市民社会の新しい関係づくりを推進するとともに、アートの持つ力を現代社会に活かし、より豊かな市民社会を創出すること」を目的として活動を続けています。

小劇場・S T スポットを基軸にした創造環境事業部では、安定的な施設運営を目指しました。公的助成が頻回出されたコロナ禍の反動もあり、以前の利用状況には戻っていませんが、利用団体数は昨年度を上回っています。自主事業として、ダンス公演や演劇ワークショップ+レクチャーの創造発信にも取り組みました。

地域連携事業部では、教育、地域、福祉の三つの柱となる事業を中心として、横浜・神奈川地域におけるさまざまなアートの可能性と向き合い、事業間の連携を深めました。

今年度からは、小劇場・S T スポット横浜の隣の区画に事務所機能を移転するなど、腰を据えた長期的な活動に向けた地盤固めも行っています。

アート界隈の経済的・社会的環境は、引き続き厳しい状況が続いていますが、現場では何とか持ちこたえています。今後とも、みなさま方からの暖かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

特定非営利活動法人 S T スポット横浜

理事長 小川智紀

目次

施設運営・創造発信事業／創造環境事業部	2
1. S T スポットの施設運営	2
2. 自主事業	4
教育普及・交流促進事業／地域連携事業部	7
1. 教育事業	7
2. 地域事業	10
3. 福祉事業	13
事務局	17
2023（令和5）年度財務諸表	19

施設運営・創造発信事業／創造環境事業部

1. STスポットの施設運営

利用者の安全と使いやすさを重視し、利用団体とコミュニケーションをとりながら、劇場利用のサポートを行いました。

【表1：STスポット年間開館状況】

項目	今年度	昨年度	備考
開館日	323日*	338日*	
稼働日	192日	230日	
稼働率	59.4%	68.0%	稼働日÷開館日
プログラム数	44本	51本	
利用団体数	39団体	28団体	

【表2：STスポット年間利用状況】

項目	今年度	昨年度	備考
STスポット総入場者数	3916人*	4762人*	
利用団体観客数	1815人*	2267人*	
利用団体スタッフ数	1081人	1167人	
事業観客数	598人*	866人*	
事業スタッフ数	422人	462人	

【表3：STスポット月別開館状況】

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開館日*	26	26	29	29	27	27	30	29	26	26	23	25	323
稼働日	12	13	13	12	16	15	16	19	19	20	16	21	192
稼働率	46.2	50	44.8	41.4	59.3	55.6	53.3	65.5	73.1	76.9	69.6	84	59.4
一般利用	2	1	2	3	0	1	2	3	2	1	1	4	22
自主事業他	1	5	1	0	3	1	1	1	3	3	1	2	22
プログラム数	3	6	3	3	3	2	3	4	5	4	2	6	44

【表4：STスポット稼働日内訳（種目別）】

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
一般利用	9	3	12	7	2	5	8	13	6	2	9	12	88
自主事業他	3	10	1	5	14	10	8	6	13	18	7	9	104
稼働日	12	13	13	12	16	15	16	19	19	20	16	21	192

【表5：STスポット稼働日内訳（ジャンル別）】

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
演劇	7	0	10	3	2	3	5	11	7	0	7	6	61
ダンス	0	0	0	3	3	0	0	0	8	6	0	6	26

音楽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
稽古	2	11	2	5	11	12	8	7	0	9	4	8	79
美術	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	1	0	6
講座・WS	3	1	0	1	0	0	1	0	0	2	1	0	9
その他	0	1	1	0	0	0	2	1	0	2	3	0	10
稼働日	12	13	13	12	16	15	16	19	19	20	16	21	192

【表6：利用団体一覧】

団体名	タイトル	利用期間
劇団あげ玉	Recitation～palette～	4月13日(木) ※稽古利用 4月14日(金) ～4月16日(日)
劇団ねこのバロン	再びの、生きがい	4月12日(水) ※稽古利用 4月20日(木) ～4月23日(日)
SCSCS/佐々木すーじん	呼吸で音楽を創るワークショップ“kq”を題材に	5月30日(火)
劇団108	i ～切れなかったチケット～	5月7日(日) ※稽古利用 6月5日(月) ～6月11日(日)
『横浜組曲』	熱海殺人事件	6月16日(金) ～6月18日(日)
SCSCS/佐々木すーじん	呼吸で音楽を創るワークショップ	7月12日(水)
劇団横濱にゆうくりあ	伊勢ブラは港に続く別れ道	7月15日(土) ～7月17日(月・祝)
がらんどろ	受能	5月27日(土)、6月24日(土)、7月23日(日) ※劇場下見 7月28日(金) ～7月30日(日)
劇団 KYs	ノーマアウォー ノーナッシング ～あなたの心に何かが芽吹く～	6月25日(日)、8月29日(火)、9月1日(金) ※稽古利用 9月8日(金) ～9月10日(日)
TeXi's	TeXi'sの自由研究 Vol.1「自分たちの言葉を獲得する」	8月28日(月) ※稽古利用 9月25日(月) ～9月29日(金)
劇団かえる	レストラン～ラ・ソリュート～	8月26日(土)、9月30日(土) ※稽古利用 10月7日(土) ～10月9日(月・祝)
演劇企画ティータイム	とこしえに微睡むティータイム	9月30日(土) ※劇場下見 10月21日(土)、10月22日(日)
劇団 Salon de 自由席	ワタシ開花シタワ	10月10日(火)、10月24日(火) ※稽古利用 11月3日(金・祝) ～11月5日(日)
内弁慶の立往生	THE BEE	11月16日(木) ～11月19日(日)
劇団家族ごっこ	虹の見える丘に住む君	5月27日(土) ※劇場下見 11月24日(金) ～11月26日(日)
マルレーベル	一等地	11月30日(木) ～12月2日(土)
小林真梨恵	waqu:iraz 『ジゼル、またはわたしたちについて-Giselle or about us-』	10月20日(金) ※劇場下見 12月14日(木) ～12月17日(日)
ツダラボ株式会社	TCAA 撮影作品『カメラさん、こんにちは(仮)』収録	12月18日(月) ～12月21日(木)、1月7日(日)、2月22日(木)
文化commons研究所 公開研究会	出発点を振り返り、これからを考える	1月6日(土)
チーム・チープロ	『nanako by nanako』映像収録	1月31日(水)
譜面絵画	喫茶シリーズ二本立て 『珈琲にシラップ、時を選ばない無常と風』 + 『Re:牛乳とハチミツ、ゆれて三日月を喰みる』	1月10日(水) ※劇場下見 2月5日(月) ～2月11日(日)
劇団カレーライス合同会社	劇団カレーライス 『経探偵事務所-R134よりAIをこめて-』	3月15日(金) ～3月17日(日)
演劇企画ティータイム	宵闇に踊るティータイム	2月17日(土) ※劇場下見 3月22日(金) ～3月24日(日)

青木直介	Three Moons～MUSIC PAUSE vol.1～	3月13日(水)
演劇集団すてつぷ。	朧朧模糊模糊 -ろうろうもこもこ- (稽古利用)	3月26日(火) ※稽古利用 (2024年5月公演)
おどりのほとり	レンズ雲のゆくえ	3月25日(月) ※稽古利用 3月27日(水) ～3月29日(金)

※利用期間には特に記載がない場合は仕込み利用日を含む公演・イベント利用期間

※利用団体以外の劇場下見での来館件数6件

※利用キャンセル1件(出演者の体調不良による利用中止)

1. 自主事業

自主事業は、『STライブラリー』、ダンス公演『まとまらない身体と 2024/横浜 session』、演劇ワークショップ+レクチャー『継承を欲望する——『アントン、猫、クリ』のメソッドはスコア化できるのか』を実施しました。劇場の空間性を活用し、表現ジャンルの固定観念にとらわれない、領域を拡張するような試みを実践しました。

1. 主催事業



『STライブラリー』

日程：2023年10月25日(水) 全1回

劇場を開放して、STスポット横浜の各事業で作成してきた、または寄贈していただいた文化施設・アート団体の刊行物等を配架し、来場者が自由に手に取れる場をつくりました。またSTスポットで行われた公演等の映像上映も行いました。STスポット横浜が保有するアーカイブを共有する機会となりました。



『まとまらない身体と 2024/横浜 session』

日程：2024年1月26日(金)～1月28日(日)

ダンス：安藤朋子 杉本音音 たくみちゃん 福留麻里 音：小林椋 演出：福留麻里

全4回 動員：125人

〔関連企画ワークショップ〕STスポットオープンデー『小さなダンスクラブ～まとまらない身体と remix～』

講師：福留麻里 全1回 参加者：2名



ソロダンスだった作品を、俳優/パフォーマンスアート/ダンサーと専門領域の異なる出演者によってグループ版としてリクリエーションしました。

様々な背景や由来をもつ10秒前後の「小さな振付」を上演の場で出演者によってランダムに選択され上演し、コラージュしていくという本作の構造は、振付を介在した記憶とそれに紐づく身体感覚の継承、共有を試みた挑戦に満ちた意欲作となりました。

また、本公演では未就学児と一緒に鑑賞できる「こども歓迎回」の設定や託児サービスを実施し、鑑賞サポートにも取り組みました。



『継承を欲望する——『アントン、猫、クリ』のメソッドはスコア化できるのか』

日程：2024年2月3日（土）全1回

講師：篠田千明 神村恵 安野太郎 参加者：6名

篠田千明氏の『アントン、猫、クリ』を題材に「演劇をスコア化する」ワークショップ&レクチャー。講師には篠田氏の他、ダンサー・振付家の神村恵氏、作曲家の安野太郎氏を迎え、身体表現をいかに記述するかについて考えを深める時間となりました。

前半は『アントン、猫、クリ』のメソッドを参加者にも体験してもらい、後半でそれを言語化／ビジュアル化／数値化など、スコアとして残せる形にするための方法を探っていきました。当日の様子は参加した若手アーティストによるレポートとして公開し、参加者以外にも取り組み内容を周知することに努めました。



2. 共催・提携・協力事業

(1) 協力 『演劇の手前／ダンスの手前』 オープンワークショップ 2023

2023年4月3日（月）・4月10日（月）・4月17日（月）

全8回 参加者数 60人



(2) 協力 『新作のためのキックオフ@STスポット～みんなに会いたい～』

2023年8月1日（火）～8月3日（木）

実施日数 3日間 動員 21人



(3) 協力 屋根裏ハイツ『新作公演に向けたワークインプログレス 『テーブルマナー（仮）』の戯曲（初稿）を読む会』

2023年8月14日（月）～8月17日（木）

実施日数 4日間（発表回数 1回） 動員 16人



(4) 協力 部屋と演劇 vol.1

2023年8月21日（月）～8月24日（木）

実施日数 4日間（発表回数 1回） 動員 54人



(5) 提携 6steps 『6steps | 6段の階段+振付書+演出から生まれるダンス』

(YPAM フリンジ 2022 参加)

2023年12月6日（水）・12月7日（木） 全4回 動員 114人



(6) 共催 STスポット・急な坂スタジオ合同ショーケース 『コーラル&ストロベリー』

(YPAM フリンジ 2023 参加)

2023年12月12日（火）・12月13日（水） 全3回 動員 65人



(7) 共催 asamicro ソロダンス 『Like throwing a pass』 (#23 ラボ・アワード受賞者公演)

2024年3月19日（火）・3月20日（水/祝） 全3回 動員 82人



【表7：主催事業一覧】

公演名	期間	入場料 (円)	回数 (回)	動員 (人)	出演者 のべ (人)	スタッフ のべ (人)
『まとまらない身体と 2024/ 横浜 session』	2024年1月26日(金)～1月28日(日)	3,000	4	178 (公開ゲ ネプロ含 む)	108	46
『まとまらない身体と 2024/横浜 session』関連企画ワークショップ 『小さなダンスクラブ～まとま らない身体と remix～』	2024年1月13日(土)	1,000	1	2	1	0
継承を欲望する——『アント ン、猫、クリ』のメソッドはス コア化できるのか	2024年2月3日(土)	3,000	1	6	6	0

【表8：共催事業一覧】

公演名	期間	入場料 (円)	回数 (回)	動員 (人)	出演者 のべ (人)	スタッフ のべ (人)
6steps『6steps 6段の階段+振 付書+演出から生まれるダンス』	2023年12月6日(水)、12月7日(木)	3,000	4	114	25	29
『コーラル&ストロベリー』	2023年12月13日(火)、12月13日(水)	4,500	2	65	57	33
asamicro ソロダンス『Like throwing a pass』	2024年3月19日(火)、3月20日(水/祝)	3,000	3	82	33	21

【表9：協力事業一覧】

公演名	期間	入場料 (円)	回数 (回)	動員 (人)	出演者 のべ (人)	スタッフ のべ (人)
『演劇の手前/ダンスの手前』オ ープンワークショップ2023	2023年4月3日(月)、4月10日 (月)、4月17日(月)	1,500	8	60	6	0
手塚夏子『新作のためのキックオ フ@ST スポット～みんなに会いた い～』	2023年8月1日(火)～8月3日(木)	1,000	3	21	3	0
屋根裏ハイツ『新作公演に向けた ワークインプログレス『テーブ ルマナー(仮)』の戯曲(初稿む 会)』	2023年8月17日(木)	1,000	1	16	24	7
部屋と演劇 vol.1	2023年8月24日(木)	1,500	2	54	12	11

教育普及・交流促進事業／地域連携事業部

1. 教育事業

横浜市にぎわいスポーツ文化局、横浜市教育委員会、横浜市芸術文化振興財団と協働して、文化施設・芸術団体と市内の小・中・義務教育・特別支援学校が連携して芸術文化の取組みを行うために「横浜市芸術文化教育プラットフォーム」を設置し、事務局代表団体として事業の進行管理を行いました。

学校現場に対する直接的な取組みとしては、一部、令和5年度文化庁「文化芸術による子供育成推進事業芸術家の派遣事業（学校申請方式）」を活用しながら、横浜市の事業と連動して、小学校3校にてコーディネートを行いました。



1. 学校と文化施設・芸術団体の連携による基盤整備

令和5年度横浜市芸術文化教育プラットフォーム事務局の運営の一環として、学校において子どもたちが創造的な体験をできるプログラムを、コーディネーター、アーティストおよび教師が協力して実施できるように具体的な調整を行い、適宜学校やアーティストからの相談を受けました。また、過去の実績の蓄積や、広報（記者発表、ニュースレター発行、独自ドメイン取得によるホームページ運営）を行いました。あわせて令和6年度実施に向けての要項・募集案内を作成し、横浜市内の市立小・中・義務教育・特別支援学校に広報を行いました。

このほか、教師および文化芸術関係者等のためのワークショップとして実施した内容は、次のとおりです。

（1）教師のためのワークショップ（美術）

日時：2023年7月24日、10：00～16：00

開催方法：PLOT48 シアター、スタジオ

図画工作科美術科研修として、横浜市内の小・中・特別支援学校の主に図画工作科、美術科の教員23人が参加。バスケットリー作家の関島寿子さんのファシリテーションのもと、実際に素材を触りながら、作品を生み出すプロセスを体験しました。その後の質疑応答では、授業における子どもたちとの向き合い方についてもやりとりすることができ、実践と理論を取り混ぜた研修となりました。

（2）教師のためのワークショップ（ダンス）

日時：2023年7月26日 15：00～16：30

会場：横浜ラポール・ラポールシアター

横浜市特別支援教育研究会の研修として実施。横浜市立小学校の個別支援学級の教員37人が参加。ダンサー・振付家・イラストレーターの北川結さんのファシリテートのもと、個別支援学級の子どもたちとの身体的な関わりについて、考えを深めていきました。

(3) 教師のためのワークショップ（音楽・邦楽）

日時：2023年10月24日、16：30～18：00

会場：横浜能楽堂 第二舞台

授業づくり講座の一環として実施。横浜市立小学校の教員9人が参加。横浜邦楽邦舞家協会の渡邊勝代さんのファシリテートのもと、箏の体験を行いました。終了後は、横浜能楽堂の見学をも行い、さまざまな側面から伝統芸能にふれる機会となりました。

(4) 教師のためのワークショップ（音楽・パイプオルガン）

日時：2024年1月24日16：30～18：00

会場：横浜みなとみらいホール・大ホールほか

授業づくり講座の一環として実施。横浜市立小・中・義務教育・高等・特支学校の教員教員等27名が参加。横浜みなとみらいホール ホールオルガニストの近藤岳さん、阿部翠さんのファシリテートのもと、パイプオルガン体験やピアノの体験などを行いました。横浜市にある文化資源を具体的に体験してもらう機会となりました。

(4) 文化芸術関係者のためのワークショップ「コーディネーター会議」

日時：2023年7月13日、10：00～11：30

会場：栄区民文化センターリス・音楽ルーム

学校でのプログラムを担当するコーディネーターが集まり、情報交換を行う「コーディネーター会議」を実施。総勢34人が集まり、学校の先生とのより良い協働のあり方や、アーティストとのプログラム開発について、情報交換やディスカッションを行いました。

2. 学校プログラムの実施

令和5年度は、保土ヶ谷小学校、大道小学校、上菅田特別支援学校の3校にてコーディネートを行いました。

3. 調査研究

令和5年度は、不登校状態にある児童生徒の支援機関における取組の調査研究として、横浜教育支援センター（横浜市教育委員会に設置）と連携し、ハートフルルーム南台で音楽の取り組みを実施しました。（コーディネーター：港南区民文化センターひまわりの郷、アーティスト：道草図案舎 トマルコ）

【表10：学校プログラムの対象校数等】

校種	今年度	昨年度
小学校	120校	117校
中学校	12校	14校
義務教育学校	2校	2校
特別支援学校	10校	10校
合計（校数）	144校	143校
合計（人数）	13,554人	12,799人

【表11：学校プログラムのジャンル・型別実施校数】

ジャンル	体験型	鑑賞型	合計
音楽	22校	25校	47校
美術	23校	0校	23校
演劇	5校	1校	6校
ダンス	14校	1校	15校
伝統芸能	23校	30校	53校
合計	87校	57校	144校

【表12：コーディネーター一覧】

地域 of 文化施設 (27 団体)	アートNPOなど、民間の芸術団体 (10 団体)
青葉区民文化センター フィリアホール	Media Global
泉区民文化センター テアトルフォンテ	NPO法人子どもに音楽を
栄区民文化センター リリス	NPO法人横浜こどものひろば
神奈川区民文化センター かなっくホール	NPO法人芸術家と子どもたち
港南区民文化センター ひまわりの郷	ART LAB OVA
旭区民文化センター サンハート	民族歌舞団荒馬座
鶴見区民文化センター サルビアホール	アートの時間
戸塚区民文化センター さくらプラザ	NPO法人Offsite Dance Project
緑区民文化センター みどりアートパーク	認定NPO法人あっちこっち
磯子区民文化センター 杉田劇場	NPO法人横浜シティオペラ
瀬谷区民文化センター あじさいプラザ	
大倉山記念館	急な坂スタジオ
久良岐能舞台	象の鼻テラス
長浜ホール	吉野町市民プラザ
岩間市民プラザ	横浜市民ギャラリー
横浜市民ギャラリーあざみ野	横浜美術館
横浜にぎわい座	横浜赤レンガ倉庫1号館
横浜みなとみらいホール	横浜能楽堂
関内ホール	大佛次郎記念館
	事務局構成団体 (2 団体)
	公益財団法人芸術文化振興財団 経営企画・ACYグループ
	認定NPO法人STスポット横浜

【表13：直接コーディネートを行った学校一覧】

学校名	学年	ジャンル	アーティスト	日程	回数	参加者数
保土ヶ谷小学校	3年生	音楽	富田真以子(打楽器演奏者)	2023年10月2、3、11日	3	39
大道小学校	個別支援学級	美術	中島佑太(アーティスト)	2023年11月24、30、12月8日	3	24
上菅田特別支援学校	高1~3年生	美術	山崎阿弥(声のアーティスト、美術家)	2024年1月24日、2月7、14日	3	16

2. 地域事業

市民やNPO団体等が主体となって、市内の地域資源を活用し、地域住民と協力して継続的な事業を行っていく文化芸術活動の支援を行いました。市全域でのネットワークづくりやコミュニティの活性化を図るため、横浜市にぎわいスポーツ文化局と協働してヨコハマアートサイト事務局を構成し、事業を進行しました。



・地域文化団体の助成金交付をはじめとしたサポート

ヨコハマアートサイト事務局として、助成金の交付対象事業を選考（申請 101 件中 32 件を採択）し、事業実施前・実施後におけるヒアリングを行うとともに、各団体の活動状況の視察を行いました。また、助成金交付を行い（助成総額：17,000,000 円）、参加団体の事業運営に関する相談に応じるなど、さまざまなかたちでサポートを行いました。

また、採択された事業などのネットワークづくりを支援するため、キックオフミーティングや、アートと地域のかかわりについて考える・交流する場「ヨコハマアートサイトラウンジ」を4回開催し、動画やテキストにてウェブサイト上に公開しました。また助成事業の報告会を実施しました。

これらに並行する形で、横浜の地域文化を考える・応援するための冊子「季刊ヨコハマアートサイト」を発刊し、横浜市内の多様な文化のかたちを伝えました。4冊（3カ月に1回刊行し、地域文化のサポートを目指しました。

【表14：ヨコハマアートサイト 2023 助成対象事業一覧】

団体名	事業名	実施区
アーティストネットワーク+コンパス	会社から地域へまるごとギャラリー2023	金沢区
OUTBACK プロジェクト	OUT BACK アクターズスクール	神奈川区
任意団体アオキカク	2023 「路上の身体祭典H!」新人Hソケリッサ! 寿町プロジェクト	中区
あっぱれフェスタ実行委員会	第十回あっぱれフェスタ	旭区
WeTT 実行委員会	ONO POINT ART SPACE	鶴見区
特定非営利活動法人 EduArt	EduArt：グローバルシティズンシップ プログラム	中区
オリオリオルオル	おりおり！おるおる！	緑区
音楽スペースおとむすび	企画伴走プロジェクト「SPROUT」	泉区
金沢区舞台芸術サークル「潮の音」	金沢区民参加ステージ 2023	金沢区
紙芝居文化推進協議会	第23回手づくり紙芝居コンクール	西区、南区、都筑区
黄金町 BASE	黄金町 BASE	中区
ことぶき「てがみ」プロジェクト実行委員会	ことぶき「てがみ」プロジェクト	中区
特定非営利活動法人シーホース工房	竹を愛でる。創る。奏でる。	中区
しましまのおんがきたい	あおばりあふりーコンサート	青葉区
一般社団法人 ジャズ喫茶ちぐさ・吉田衛記念館	ジャズ喫茶ちぐさの90年（仮）	西区
Studio oowa 実行委員会	アートプロジェクト studio oowa	西区
STAND Still	性暴力サバイバービジュアルボイス	中区、青葉区
NPO 法人スペースナナ	のんびりアートデイ	青葉区

ティーンズクリエイション組織委員会	SAKAE Wakamono Creation	栄区
どこコレ? in たまプラーザ運営事務局	どこコレ? in たまプラーザ	青葉区
虹色畑クラブ	虹色畑クラブ 畑でアートプログラム	港北区
Picture This Japan	横浜インターナショナルユースフォトプロジェクト	中区
特定非営利活動法人美術保存修復センター横浜	未来に繋ごう、皆んなの!!歴史・文化・芸術!! ~巻いてあるもの!!~	西区
ひよこの会	視覚障害児と一緒に作り出すインビジブルアートの開催	南区、西区
NPO 法人ぷかぷか	みんなでワークショップ	緑区
ほる実行委員会	ほってみる	中区、西区、南区
まちなか立寄楽団	まちなか立寄楽団の「たちよってつくるコンサート2023」	中区
NPO 法人ミニシティ・プラス	ミニヨコハマシティ+アート2023	西区
Murasaki Penguin	「Stutter」コロナから、みんなのペースを考えるプロジェクト	戸塚区
一般社団法人横浜若葉町計画	まちなかギャラリー2023	中区
Little Free Library はちのじぶんこ	つなGO!!はちのじらイブラリー2023	都筑区
ROJIURARt 実行委員会	「ロジウラート！」ウラアートでハートのキャッチボール!	都筑区

【表15：ヨコハマアートサイトラウンジ・事業報告会一覧】

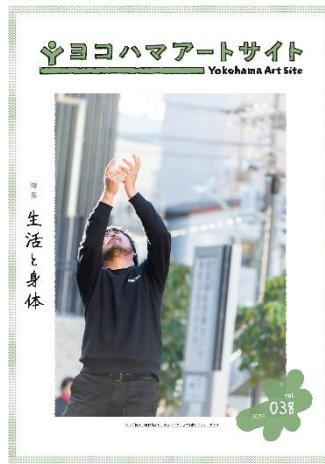
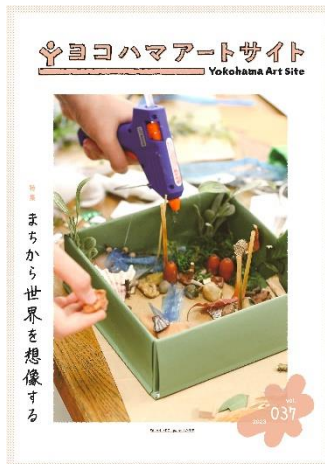
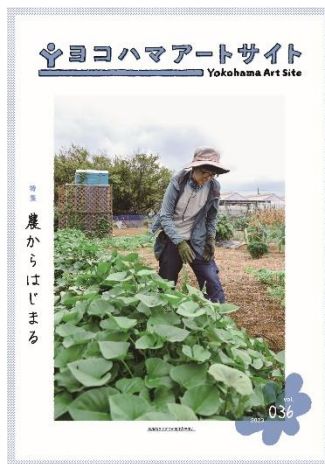
回	企画名	テーマ	開催・収録日	主な出演者（敬称略）	会場
38	農と生活とアート	農とアートの観点から場のあり方について考える	2023年11月1日	原田朋子（虹色畑クラブ）、菊島景子（チャコ村）	都筑民家園
39	イギリスのコミュニティ・アートから考える※YPAMとの協働	コミュニティの社会課題にアプローチするコミュニティ・アートについて	2023年12月12日	小林瑠音（文化政策研究者、芸術文化観光専門職大学 講師）、横山千晶（居場所「カドベヤで過ごす火曜日」運営委員会代表、慶應義塾大学 教授）	フォーラム南太田およびオンライン
40	音で超える、つながり～さまざまな人と音楽を～	音楽を通したさまざまな人たちとの関わりについて	2023年12月17日	小柳玲子（音楽スペースおとむすび代表）、木村有沙（しましまのおんがくたい代表）	音楽スペースおとむすび
41	遊んで育つ場をひらく	子どもたちの居場所から考えるアート	2024年3月8日	小森朋美（NPO 法人スペースナナ）、谷崎悦子（NPO 法人横浜こどものひろば）、尾崎万里奈（公益財団法人よこはまユース）	青少年交流・活動支援スペース（さくらリビング）
報告会	ヨコハマアートサイト2023 報告会	ヨコハマアートサイト2023 参加事業の報告	2024年3月16日	ヨコハマアートサイト2023 参加団体	横浜市役所アトリウム

【表16：季刊ヨコハマアートサイト一覧】

号	特集	発行月	主に取り上げた事業や場所
35	まちと詩	2023年6月	子どもの本&クーベルチップ「クーベルチップ歌会」、中村剛彦「若葉町コトダマップ」、松下育男「詩の教室」、「ヨコハマアートサイト2022 報告会」、地域文化の風景「～博物館のある街の文化祭～」(羽毛田 智幸)、若葉町ウォーフ「CABARET」、瀬谷区民文化センターあじさいプラザ「プラザ・アートウィーク2023」、横浜人形の家「ぬいぐるみのげんざいち」、7artscafe 「AVIARY OF DREAMS・空飛ぶ夢」
36	農からはじまる	2023年9月	虹色畑クラブ「農作業を通してその人自身を取り戻す場所」、よこはま里山研究所(NORA)「里山とかかわる暮らしを」、チャコ村「みんなで作るみんなの居場所」、「ヨコハマアートサイト2023 について」、地域文化の風景「歴史と文化のプロムナードとその遺産～街と人に支えられ、街とともに時を刻む～」(田中 啓介)、WeTT 実行委員会「鶴見エナジーポイントプロジェクト」、金沢区舞台芸術サークル潮の音「歴史探索」、NPO 法人ミニシティ・プラス「ミニヨコハマシティ2023」、NPO 法

人シーホース工房「未来音楽アートサロン」

37	まちから世界を 想像する	2023年12月	NPO法人 EduArt「グローバルシティズンをアートを通して育む」、NPO法人 Sharing Caring Culture「アートで多文化コミュニティを開く」、WeTT 実行委員会「weTREES TSURUMI プロジェクト」、ヨコハマアートサイトラウンジ Vol. 38「農と生活とアート レポート」、地域文化の風景「～川崎の未来を豊かに彩るつながりづくり～」(久保田 陽子)、ひよこの会「ひよこの会のハロウィン from Home」、オリオリオル「機織りワークショップ」、Little Free Library はちのじぶんこ「フリーライブラリー」、Studio oowa 「YUKAI YOKAI YAKAI」
38	生活と身体	2024年3月	アオキカク「生に向き合う身体『新人H ソケリッサ!』」、un:ten+「女性のエンパワメントを衣服と身体で表現する」、Murasaki Penguin「コミュニティと芸術を身体から考える」、ヨコハマアートサイトラウンジ Vol. 40「音楽で超える、つなぐ～さまざまな人と音楽を～」、地域文化の風景「～アートから伝える共生社会～」(和田 剛)、一般社団法人ジャズ喫茶ちぐさ・吉田衛記念館「ジャズ喫茶ちぐさの90年」、あっぱれフェスタ実行委員会「あっぱれフェスタ 2023」、OUTBACK プロジェクト「OUTBACK アクターズスクール第3回横浜演劇公演」



3. 福祉事業

I. 「神奈川県障がい者芸術文化活動支援センター」の運営



1. 相談対応

障害者やその家族、障害福祉サービス事業者等から芸術文化活動に関する相談を、メール、電話、面会などで170件受け付けました。またウェブサイトやリーフレットを作成し、支援センターおよび相談窓口の周知を行いました。発表や交流の場を求める当事者の声や、福祉施設や芸術文化団体が企画する障害者を対象とした芸術文化活動への助言を求める相談など、福祉／芸術文化双方からお互いの分野への関心の高さを感じました。また、対応時に提供した情報から具体的な活動に結びついたという相談者からの報告もありました。



2. 芸術文化活動を支援する人材育成事業

(1) 障がい者の文化芸術を支援するコーディネーターの養成

「一人ひとりの表現からはじめる」をテーマに、主に障害福祉関係者を対象とした勉強会を3回開催しました。1回は収録した映像を申込者に配信するオンライン開催、2回は県内の文化施設を会場に対面開催し、のべ79人が参加しました。

福祉施設におけるアート活動や地域とつながる実践について施設職員から話をうかがったり、参加者にダンスワークショップを体験していただくことで、参加した人がそれぞれの所属で活動を改めて考えるきっかけになったのではないかと思います。対面開催した回では、参加者同士の交流も生まれ、情報交換の場にもなっていました。

(2) ワークショップ実施事業

神奈川県内の障害福祉サービス事業所等に7か所に対してのべ24回アーティストを派遣し、施設の希望に応じてダンスや音楽、美術の芸術文化体験活動を実施しました。昨年度から引き続き実施する3施設のほか、実施を希望する施設を公募で募り、29件あった応募の中から、4施設を選出して実施しました。施設を利用する障害者だけでなく、その保護者やきょうだい、外国につながりを持つ子どもたちなど、さまざまな背景を持つ人たちが参加し、表現を共有する場が生まれました。

各実施施設とは、地域とのつながりや施設内の活動への活用など、実施後の展開についても相談しながら内容を検討しました。施設が所在する自治体の担当課や文化施設と情報交換をし、実施の様子を見学していただくなど取組みの共有を行うことで、連携体制の構築を試みしました。実施施設の1つでは、地域の文化施設にコーディネートを依頼し、アーティストの選定や日程などの調整を担っていただきました。

3. 関係者のネットワークづくり

(1) 協力委員会

障害者の芸術文化活動に造詣の深い専門家に協力委員会を設置しました。会はオンラインにて2回開催し、運営等について助言をいただきました。

(2) 文化施設職員との座談会

県内の美術館やホールなど公立文化施設の事業担当者等に呼びかけ、情報交換などを行う座談会を1回実施しました。ゲストによる先行事例の紹介と会場となった施設見学を行い、障害者を含むさまざまな人が訪れる場所としての文化施設の役割や、日ごろの工夫、悩み事などを参加者間で共有しました。

4. 事業の成果の発表

(1) 成果報告会「地域とともに考える障がい福祉と芸術文化」

今年度の支援センターの活動報告をオンラインによる動画配信で行いました。特にワークショップ実施事業について、公募から実施につながった4施設の事例を実施施設の職員とアーティストをゲストに招き紹介しました。改めて取組みで感じたことや、障害者と芸術活動を行う意義、今後の展望などを共有しました。また、神奈川県が取り組む障害者の芸術文化活動に関する2つの事業についても紹介しました。

5. 情報収集・発信、成果報告とりまとめ

ウェブサイトを作成し、センター主催の催し等の発信を行い、周知につとめました。また、「神奈川県障がい者芸術文化活動支援センターだより」として、県内のイベントや公募の情報をウェブサイトやメーリングリストにて10回配信しました。

年度末には報告書を3,800部作成し、県内の障害福祉サービス事業所等に配布、ウェブサイトにも掲出しました。

■講演・講座等の実績

- ・社会福祉法人横浜愛育会 管理者研修「愛育会が地域で実現する障害者のはたらく・くらすをエンパワ」(主催:特定非営利活動法人よこはま地域福祉研究センター/2023年4月1日)
- ・川崎市「パラムーブメント推進イベント」視察(2023年11月3日、11月10日)
- ・「つながる!ひろがる!パラアート・ミーティング」(主催:公益財団法人 川崎市文化財団/2024年3月13日)

【表17：相談事業】

■相談方法

	面会	電話	メール	オンライン	問い合わせ フォーム	その他	合計
相談件数	25件	70件	53件	6件	15件	1件	170件

■居住地別

	横浜	川崎	相模原	機須賀・三浦	湘南東部	湘南西部	県央	県西	県外	不明	合計
相談件数	83件	12件	11件	9件	11件	18件	5件	3件	11件	7件	170件

■相談内容

	鑑賞につ いて	創造に ついて	発表に ついて	交流・連携 について	調査研究・保 存について	権利保護 について	人材育成 について	情報発信 について	その他	合計
相談件数	5件	48件	34件	46件	1件	6件	5件	13件	12件	170件

【表18：ワークショップ実施事業一覧】

	施設名	施種別	障害種別	ジャンル	アーティスト	日程	回数	人数
1	発達支援センター リエール	障害福祉サービ ス事業所	知的	ダンス	小暮香帆(ダンサー)	2024年1月18日、2月 1日、2月8日	3	25
2	湘南希望の郷ケア センター	障害福祉サービ ス事業所	身体	ダンス	小暮香帆(ダンサー)	2024年1月18日、2月 1日、2月8日	3	18
3	地域相談支援セン ター さらん	相談支援事業所	知的	美術	Art Lab Ova (アーティ ストユニット)	2023年10月28日、11 月25日、12月9日	3	43
4	児童発達支援セン ターアグネス園	障害児通所支 援事業	発達	ダンス	北川結(ダンサー)	2023年12月8日、12月 19日、2024年1月10日	3	62
5	地域活動支援セン ター きたのば	地域活動支援 センター	精神	音楽	西井夕紀子(作曲家)	2024年2月21日、2月 28日、3月13日	3	22
6	児童デイサービス くれよん	障害児通所支 援事業	発達	美術	ズッコロッカ(あそび のアトリエ)	2023年11月18日、12月 1日、12月9日	3	22
7	生活介護事業所 紙飛行機	障害福祉サービ ス事業所	知的	美術	長峰麻貴(舞台美術家)	2023年9月12日、11月 7日、12月14日	6	73

【表19：勉強会、報告会】

	企画名	日程	主な出演者(敬称略)	テーマ	人数	会場
1	表現からはじま る、地域とのつな がり	2023年10月20 日	安武宗吾(磯子区障害者地域活 動ホーム)、山崎裕之(社会福 祉法人愛育会 理事長)	横浜市にある2つの福祉 施設での実践から、表現 をとおした地域との関わ りの深め方を考えた。	25	横浜市神奈川区 民文化センター かなっくホール
2	一人ひとりから 障がいを考える	2023年12月11 日~12月25日	田中 みわ子(東日本国際大学 健康福祉学部)	障害学の立場から障がい のある人の表現を研究分 野としている講師を招 き、“障がいとは何か” について考えを深めた。	46	オンライン配信
3	身体で表現して みよう	2024年2月5日	入手 杏奈(ダンサー)	身体で表現することの楽 しさを体験する時間とし た。	8	社のホールはし もと
4	成果報告会「地域 とともに考える 障がい福祉と芸 術文化」	2024年2月20日	(1) 武居 光(地域相談支援セ ンターさらん)、遠藤 裕子(児 童発達支援センターアグネス 園)、辻本 亜希(湘南希望の郷	今年度の事業報告をする とともに、ワークショッ プ実施事業のうち4事例 の紹介と、神奈川県が取	22	神奈川県民ホー ル

ケアセンター)、石井 健太(発達支援センターリエール)(2)神奈川県共生推進本部室、神奈川県芸術文化財団

り組む障害者の芸術文化活動に関する事業についてお話しいただいた

【表20：文化施設職員との座談会】

企画名	日程	主な出演者(敬称略)	テーマ	人数	会場
1 文化施設と福祉施設の連携について	2024年1月23日	永沼絵莉子、森永恭子、佐藤貴義(厚木市文化会館)	ゲストによる先行事例の紹介や会場施設の見学を行い、さまざまな人が訪れる場所としての文化施設の役割や、日ごろの工夫、悩み事などを参加者間で共有した。	7	横浜市市民文化会館 関内ホール

II. 神奈川県「ともいきアートサポート事業」業務委託

神奈川県共生推進本部室が行う「ともいきアートサポート事業」に関する業務を受託し、実行しました。

1. 特別支援学校・学級等教員に向けた研修

県内の3か所の文化施設等を会場に、特別支援学校・学級等の先生を対象とした研修を行いました。さまざまな素材に触れて五感を使い、他の参加者といっしょにつくる体験を通して、ものづくり楽しみ方を発見する美術ワークショップ行いました。ワークショップの前後では、会場となる文化施設の紹介や、横須賀市にある国立特別支援教育総合研究所による特別支援教育に関する情報提供もしていただきました。

【表21：特別支援学校・学級等教員に向けた研修】

企画名	日程	主な出演者(敬称略)	テーマ	人数	会場
1 アートを通じたインクルーシブな授業づくり(1)	2023年7月27日	ドゥイ(造形ユニット)	さまざまな素材を使った創作を体験する	21)横浜市民ギャラリーあざみ野
2 アートを通じたインクルーシブな授業づくり(2)	2023年8月3日	ドゥイ(造形ユニット)	さまざまな素材を使った創作を体験する	20	県立スポーツセンター グリーンハウス
3 アートを通じたインクルーシブな授業づくり(3)	2023年8月21日	ドゥイ(造形ユニット)	さまざまな素材を使った創作を体験する	19	横須賀美術館 ワークショップ室

事務局

法人事務局として、部門の統括を行うとともに、広報宣伝などを行いました。また、認定NPO法人化を機に開始した寄附獲得にむけての広報宣伝等を行うとともに、レクチャー・シンポジウムなどへの出演を積極的に行い、団体および事業の広報を行いました。このほか、関連分野の芸術文化機関やNPO等と、レクチャーやシンポジウム等を通じた事業連携、事務局運営支援を行い、ネットワークの拡充に取り組みました。

【表 22：レクチャー、シンポジウム等への登壇】

企画名	会場	主催等団体	日付	担当など
青山学院大学 地球社会共生学部 岡本ゼミ	青山学院大学	青山学院大学	2023年5月18日	小川智紀、田中真実
ステージラボ札幌セッション 公立ホール・劇場マネージャーコース	札幌市民交流プラザ	一般社団法人地域創造	2023年7月5日	小川智紀
令和5年度 障害者等による文化芸術活動推進事業「劇場・音楽堂等による共生社会実現のための人材養成講座」初心者向け講座	オンライン	公益財団法人全国公立文化施設協会	2023年7月6日	小川智紀
実践型アートマネジメント講座「地域にひらくまなざし講座」	福岡アジア美術館あじびホール	公益財団法人福岡市文化芸術振興財団	2023年7月8日	田中真実
アーツアカデミー「芸術文化創造活動の担い手のためのキャパシティビルディング講座」	アーツカウンシル東京	アーツカウンシル東京	2023年9月25日から 2024年2月8日	小川智紀
東海・北陸ブロック第3回ブロック会議	オンライン	東海・北陸ブロック障害者芸術文化活動広域支援センター	2023年7月28日	田中真実
第3回南関東・甲信ブロック研修	オンライン	南関東・甲信障害者アートサポートセンター	2023年8月9日	田中真実
みんなで話そう！これからのアート～子どもも、障害のある人もない人も、みんながアートを楽しめるまちにするために～	せんだいメディアテーク	せんだいメディアテーク	2023年8月11日	田中真実
創造力とコミュニティ研究会 21 『地域のアートNPOと、市民活動』	カドベヤ	カドベヤ	2023年9月26日	小川智紀
東京芸術劇場プロフェッショナル人材養成研修「芸術文化と地域社会」	STスポット	東京芸術劇場	2023年9月27日	小川智紀
横浜平沼高等学校「地域貢献活動」受入	STスポット	横浜平沼高等学校	2023年10月26日	川村美紗、萩谷早枝子
洗足学園音楽大学 音楽教育コース「アートマネジメント研究〔実践編〕」受入	STスポット	洗足学園音楽大学	2023年11月8日	田中真実
共生社会の実現に向けた港区文化芸術ネットワーク会議シンポジウム「アートがまちをかえていく」	港区立男女平等参画センター リーブラホール	公益財団法人港区スポーツふれあい文化財団	2023年12月22日	田中真実
ふじみ野市文化協会「文化芸術でまちづくり」	ステラ・イースト	ふじみ野市文化協会	2024年3月24日	小川智紀

【表 23：事務局運営支援】

企画名	団体の目的等	主な支援内容
特定非営利活動法人アートNPO リンク	アートNPOの中間支援。全国アートNPOフォーラムの開催、障害者芸術文化活動普及支援事業の運営、調査研究	窓口支援、会計支援、広報支援
一般社団法人 associations	研究会・勉強会および関連イベントの企画運営、調査研究	設立支援、会計支援

【表 24：事業の実施に関する事項：特定非営利活動に係る事業】

	STスポットを中心とした芸術文化施設の運営管理	舞台芸術を中心としたアートプロジェクトの創造発信	舞台芸術を中心としたアウトリーチや教育普及、交流促進
内容	市民に開かれた劇場として、STスポットの運営管理を行う。	アーティストと協働し、舞台芸術を中心とした創作および発信を行う。	教育、地域、福祉等の分野との協働を通して、中間支援活動を行う。
日時	通年	通年	通年
場所	横浜市	横浜市・神奈川県	横浜市・神奈川県
従事者人員	4名	4名	7名
受益対象者	主に芸術文化関係者 3,916人	主に芸術文化関係者 347人	子ども、障害者を含む一般 44,721人
支出合計額	10,042,307円	4,140,220円	78,432,083円

活動計算書

特定非営利活動法人 S T スポット横浜

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

科目	金額 (単位:円)		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	130,000	130,000	
2. 受取寄付金			
受取寄付金	60,000	60,000	
3. 受取助成金等			
受取助成金	0		
受取補助金・負担金	73,472,500	73,472,500	
4. 事業収益			
事業収入	2,417,052		
利用協力費	3,426,600		
受託費	12,837,968	18,681,620	
5. その他収益			
雑収入	505		
その他の収入	21,500		
繰入金収入	0	22,005	
経常収益計			92,366,125
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給与手当	25,779,437		
通勤費	1,638,612		
臨時雇賃金	792,000		
福利厚生費	4,386,232		
人件費計	32,596,281		
(2) その他経費			
諸謝金	5,490,974		
委託費	18,525,130		
助成費	17,000,000		
制作費	42,075		
消耗品費	848,773		
印刷費	1,495,308		
広報宣伝費	3,668,806		
旅費交通費	1,224,748		
支払手数料	64,100		
地代家賃	2,898,542		
会場借上費	374,300		
通信費	3,736,459		
会議費	1,006,656		
設備費	334,974		
リース料	52,056		
租税公課	1,101,302		
その他経費計	57,864,203		
事業費計		90,460,484	
2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	176,726		
通勤費	11,340		
退職給与繰出金	1,200,000		
人件費計	1,388,066		
(2) その他経費			
諸謝金	566,060		
設備緊急対策金	200,000		
繰入金支出	0		
その他経費計	766,060		
管理費計		2,154,126	
経常費用計			92,614,610
当期経常増減額			-248,485
III 経常外収益			
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
経常外費用計			0
当期正味財産増減額			-248,485
前期繰越正味財産額			23,968,965
次期繰越正味財産額			23,720,480

財務諸表の注記

特定非営利活動法人 S T スポット横浜

令和6年3月31日現在

1. 重要な会計方針
財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。
- (1) 消費税等の会計処理 消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。
- (2) 引当金の計上基準
- ・退職給与引当金 将来の退職金支給のため、当期末において必要であると認められる金額を計上しています。
 - ・設備緊急引当金 設備の緊急補修などに備え、当期末において必要であると認められる金額を計上しています。
- (3) 準備金の計上基準
- ・企画連携事業準備金 今後の事業開発に向けて、当期末において必要であると認められる金額を計上しています。
2. 事業費の内訳
事業費の区分は以下の通りです。 (単位:円)

科 目	創造環境事業部	地域連携事業部	事業費計
(1) 人 件 費			
給 与 手 当	6,602,138	19,177,299	25,779,437
通 勤 費	451,512	1,187,100	1,638,612
臨 時 雇 賃 金	0	792,000	792,000
法 定 福 利 費	1,104,034	3,282,198	4,386,232
人 件 費 計	8,157,684	24,438,597	32,596,281
(2) そ の 他 経 費			
諸 謝 金	2,563,704	2,927,270	5,490,974
委 託 費	66,680	18,458,450	18,525,130
助 成 費	0	17,000,000	17,000,000
制 作 費	42,075	0	42,075
消 耗 品 費	189,612	659,161	848,773
印 刷 費	70,270	1,425,038	1,495,308
広 報 宣 伝 費	14,036	3,654,770	3,668,806
旅 費 交 通 費	532,691	692,057	1,224,748
支 払 手 数 料	14,795	49,305	64,100
地 代 家 賃	0	2,898,542	2,898,542
会 場 借 上 費	13,200	361,100	374,300
通 信 費	794,978	2,941,481	3,736,459
会 議 費	471,991	534,665	1,006,656
設 備 費	334,974	0	334,974
リ ー ス 料	52,056	0	52,056
租 税 公 課	463,781	637,521	1,101,302
そ の 他 経 費 計	5,624,843	52,239,360	57,864,203
合 計	13,782,527	76,677,957	90,460,484

3. 使途等が制約された寄付等の内訳
使途が制約された補助金等の内訳は以下の通りです。 (単位:円)

名称	拠出元	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
STスポット運営補助金	横浜市	0	6,100,000	6,100,000	0
芸術文化教育プログラム推進事業負担金	横浜市	0	36,372,500	36,372,500	0
地域文化サポート事業プラットフォーム負担金	横浜市	0	31,000,000	31,000,000	0
合計		0	73,472,500	73,472,500	0

貸借対照表

特定非営利活動法人 S T スポット横浜

令和6年3月31日現在

科 目	金 額 (単位：円)		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金・預金			
現金	520,659		
預金	43,491,215		
現金・預金 計	44,011,874		
その他流動資産			
未収入金	70,800		
仮払金1	80,000		
仮払金2	879,139		
その他流動資産 計	1,029,939		
流動資産合計		45,041,813	
2. 固定資産			
投資その他の資産			
敷金	1,679,292		
投資その他の資産 計	1,679,292		
固定資産合計		1,679,292	
資産合計			46,721,105
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	157,030		
仮受金	879,139		
未払費用	1,932,785		
流動負債合計		2,968,954	
2. 固定負債			
企画連携事業準備金	1,500,000		
退職給与引当金	12,676,193		
設備緊急引当金	5,855,478		
固定負債合計		20,031,671	
負債合計			23,000,625
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		23,968,965	
当期正味財産増減額		▲ 248,485	
正味財産合計			23,720,480
負債及び正味財産合計			46,721,105

財産目録

特定非営利活動法人 S T スポット横浜

令和6年3月31日現在

科 目	金 額 (単位:円)		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手許現金	520,659		
住信SBIネット銀行 法人第一支店 普通	18,640,488		
三菱UFJ銀行 横浜駅前支店 普通	12,676,193		
三菱UFJ銀行 横浜駅前支店 普通	4,819,056		
三菱UFJ銀行 横浜駅前支店 普通	7,355,478		
未収入金			
利用協力費(1件)	70,800		
仮払金			
つり銭	80,000		
収益事業会計への仮払支出額	879,139		
流動資産合計		45,041,813	
2. 固定資産			
投資その他の資産			
敷金			
住友信託銀行(株)	1,679,292		
固定資産合計		1,679,292	
資産合計			46,721,105
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金			
源泉所得税等	157,030		
仮受金			
非収益事業会計からの仮受受入額	879,139		
未払費用			
未払消費税	1,309,824		
社会保険料等	622,961		
流動負債合計		2,968,954	
2. 固定負債			
企画連携事業準備金	1,500,000		
退職給与引当金	12,676,193		
設備緊急引当金	5,855,478		
固定負債合計		20,031,671	
負債合計			23,000,625
正味財産			23,720,480